

- ◆現在第5次社会資本整備重点計画を策定作業中であるが、令和3年5月18日(火)に「四国ブロックにおける社会資本整備重点計画に関する有識者懇談会」を開催した。
- ◆本懇談会は、四国における社会資本の現状と課題、ストック効果の最大化に向けた取組計画の方向性について、有識者より意見を伺うためウェブ会議方式で開催。

■日時:令和3年5月18日(火)13:30~14:50

■場所:ウェブ会議

■参加者:

徳島大学大学院 教授 豊田 哲也  
徳島大学大学院 教授 武藤 裕則  
四国ツーリズム創造機構

本部長 桑村 琢

愛媛大学大学院理工学研究科  
教授 森脇 亮

高知大学 教授 原 忠

高知工科大学 教授 那須 清吾

香川県立保健医療大学

教授 高嶋 伸子<欠席>

いよぎん地域経済研究センター

社長 重松 栄治<欠席>



【ウェブ会議による懇談会の様子】

## <懇談会で頂いた主なご意見>

- ・3つの目的と6つの重点目標の関係の記載について工夫の余地あり【豊田教授】
- ・小目標同士を組み合わせ実施すると相乗効果も期待され、達成までの期間も短縮するのではないか【武藤教授】
- ・四国の強みである海に関連して受け入れ環境の改善等の取組を推進してほしい【桑村本部長】
- ・インフラはいろんな方に提供し活用いただくことで付加価値がついてくるので規制緩和等柔軟に対応してほしい【森脇教授】
- ・脱炭素化は四国の付加価値を高める上で重要な施策になる可能性がある所以具体的計画を立てるべき【原教授】
- ・既存インフラの高度利用や先端技術の統合といったことを考えるべき【那須教授】